

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)






様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる ○手術に対する不安が最小限である		○手術に伴う合併症の出現が最小限である ○合併症出現時早期発見対処される ○転倒、転落がない ○疼痛がコントロールされる
検査	身長、体重測定 採血		レントゲン撮影 採血
食事	・夕食後絶食、21時以後絶飲食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用		絶飲食
	朝食は 自宅で		・朝より水分開始 ・昼より全粥食開始
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズを測定しお渡しします 手術部位にマーキングを行います	点滴の針を留置します 朝 洗腸します 時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → ・点滴の管 → ・背中のチューブ(鎮痛剤) → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します 創部を観察、処置を行います
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります(血圧自己測定も実施予定です)		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡お渡しください 眠前下剤を服用します	手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 → 抗菌剤(必要時)
	シャワー浴できます 制限はありません	以下の手術準備をします ・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替え 付き添いのもと、リハビリを開始します
説明	医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室・集中治療室看護師より ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について 薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より ・手術結果について 看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・尿道カテーテルの必要性について(尿意、疼痛が強い場合はナースコール)	看護師より ・水分摂取について(1日1.5ℓを目安に摂取)

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日							
経過	術後 2 日目		術後 3～6 日目								
経過			術後 7 日目								
経過			術後 8 日目 (退院日)								
目標	○手術に伴う合併症の出現が最小限にとどめられる (出血、感染、腸閉塞、深部静脈血栓症など)			○退院後の療養上の注意点 について理解できる							
検査	 状況に応じて <ul style="list-style-type: none"> ・採血 ・レントゲン撮影 ・その他検査 										
食事	 水分は 1 日 1.5 ㍓を目安に摂取 <ul style="list-style-type: none"> ・朝から常食 			退院日は朝食のみ							
											
処置・観察	以下の挿入物、装着物があります <ul style="list-style-type: none"> ・心電図モニター → 術後 2 日程度で取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後抜去します ・背中チューブ (鎮痛剤) → 術後 2～3 日で抜去します ・創部の管 (ドレーン) → 術後 2 日程度で抜去します ・尿道カテーテル → 術後 2 日程度で医師判断のもと抜去します 			退院時にリストバンドを外します							
	 創部を観察、処置を行います										
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります (血圧自己測定も実施予定です)											
点滴・内服	 朝 血栓予防薬皮下注射を します										
行動・リハビリ	 状況に合わせて、看護師が全身 清拭、洗髪、足浴します		 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日異なります)								
	 尿道カテーテル抜去後は トイレで排尿できます										
	 尿量を自己測定します		→ 術後 5 日目まで								
 付き添いのもと、 リハビリを継続します		→			 朝食後退院です						
説明	 看護師より <ul style="list-style-type: none"> ・尿量自己測定と記載方法 について 										
			 栄養士より <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の食事について (ご家族の受講希望があれば日程調整します) 								
		 主治医より <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の治療計画、療養 上の留意点について 									
		 看護師より <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しし ます) 									

